

① 学習指導案

プログラム	No.11「地域プランナーになろう」
単元名 (全 時間)	見つめなおそう「宮内の景観」 (全35時間)
学習のねらい	「景観」という視点で自分たちの住む宮内のよさを捉え直し、児童や保護者、地域の方など、より多くの人にそのよさを発信する活動を通して、愛郷心を育む。
学習内容	1つかむ「山形県景観出前授業」⇒景観という視点を学ぶ 2調査活動「地域の景観を捉え直し、よさを発掘する」 3課題設定「グループで捉えた地域のよさを磨く、PRする方法を考える」 4課題解決「グループで考えた発信対象に向けてPR活動をする」 5振り返り「全体の活動を振り返り、成果を共有する」
参考資料 準備品 実施場所等	・児童が設定した課題追究の方法に合わせた準備物。 ・学校を中心とした宮内地区全域が活動場所。

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
4	・山形県景観出前授業の講座で学習する。	・景観という新たな視点を学び、今後の学習に生かすことができるようにする。	・知識・技能 (ワークシート)
5	・実際に宮内の町の中を歩きながら「景観」という視点でお勧めスポットを探し、写真を撮る。	・ふだん歩いている宮内の街中の景色を「景観」という視点で捉え直し、よさを発見させる。	・主体的に学習に取り組む態度 (観察・写真)
3	・グループをつくり、課題解決方法を考える。	・景観という視点で発見したよさを更に磨く、または広げる方法を考えさせる。	・思考・判断・表現力 (観察・ワークシート)
10	・グループで考えた解決方法で課題解決をする。	・見通しをもって活動できるように進捗状況を確認しながら学習を進めさせる。	・主体的に学習に取り組む態度 (観察・ワークシート)
10	・学習の成果をまとめ、発表の準備をする。	・発信する対象に合わせて発表方法を考えさせる。	・知識・技能 (発表原稿)

<留意点>

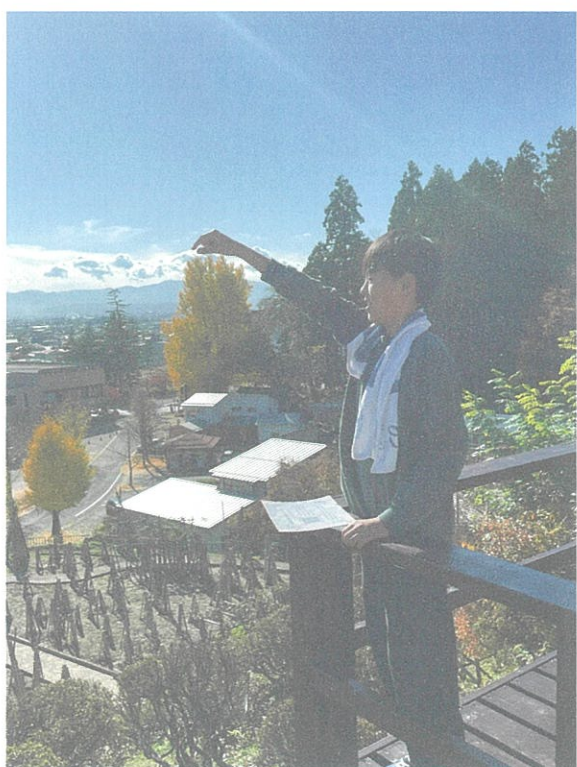
② 事業実施報告書詳細

学校名 南陽市立宮内小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
4	宮内 吉野 (小滝)	県の景観出前授業を受講し、「景観」という視点を学び、地域の景観を見る。 ①熊野大社前大鳥居 ②くぐり滝	①  ② 	景観という新しい視点を学び、それを守るための地域の人々の努力があることを知り、関心、意欲を高めた。
3	宮内	景観という視点で自宅周辺のスポットを見直し、写真を撮影する。		自宅周辺を景観という観点で見直すことで、よさを発見することができていた。
3	教室	持ち寄った写真を基に、更に宮内をよくしていく活動を考える。 ⇒同じ課題をもった児童でグループをつくり解決方法を検討する。		自分の地域に対する関心を高め、グループで積極的に意見を交換しながら、解決方法を考えることができた。
10	宮内	グループごとに課題解決をする。	※次ページ参照	試行錯誤しながら、自分で選択した課題に意欲的に取り組んだ
10	教室 体育館	活動内容を基に、パワーポイントを使って発表原稿を作成し、保護者や他の学年の児童に発表する。	※次ページ参照 ※発表原稿参照	活動を整理することで今後の展望や改善点について考えることができた。

【グループ課題一覧及び活動写真】

- 私たちが初めて学んだ景観
- 宮内の景観を守るために～美しいまちづくりのために～
- 明るい町づくり
- 地域の方々や観光客に景観のいいところを広めよう！！
- 写真の撮り方
- 宮内の歴史や伝統
- 100年続く菊祭り
- 南陽市の景観紹介！



### ③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <p>景観という新たな視点を通して自分の住んでいる地域のよさや課題を見直すとともに、探究的な学びを深めるために、自分たちで課題を設定したり、解決方法を考えさせたりすることを大切にしました。</p>
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <p>課題が複数になったために、指導者の数が不足し、同時進行することが困難だった。</p> <p>また、課題解決活動を実施するにあたり、多くの施設や地域の方の力添えを得たり、許可を得たりする必要があり、苦労した。</p>
<p>(3) 児童の反応</p> <p>とても意欲的に学習に取り組んだ。学校行事や他の単元の総合的な学習もあり、長期間の取り組みになったが、最後まで課題意識を持続し、主体的に学習することができた。</p> <p>また、景観という新たな視点を学んだことで、自分の住む地域を違った側面で捉えてよさを見付けることができた。</p>
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <p>今まで地域を素材にした総合的な学習を学校全体として行ってきたが、新たな「景観」という視点を基に学習過程を構築することで、より多様な視点から地域のよさや課題について児童と共に捉えることができた。また、探究的な学習過程に基づく総合的な学習の進め方について、更に知見を深めることができた。</p>
<p>(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕</p> <p>児童主体の学習を展開していく際、事前に児童の学習過程を見通し、関係諸団体と打ち合わせしておく必要がある。児童の学習に必要な支援を見極めながら、人との関わりを大切に学びを深めていけるように指導を工夫していく。また、今回は同じテーマでグループを組んで学習したが、学習した成果を生かして個人に戻し、個の学びを深めることも大切であると感じた。</p>